

国立病院機構 新潟病院



未知の問題、課題を突破できる、 国際的にも活躍できる医師へ

新潟病院 院長 中島 孝

当院は、特定機能病院でもなく、急性期病院でもありませんが、内科、小児科、外科、脳神経内科などの地域医療や、重症心身障害などの難病医療に関する高度な専門医療を行う医療機関であり、診療だけではなく、教育・研修・研究においても非常に優れた病院であることが

特徴です。

医師は未知の問題や課題を解決できる能力も必要です。当院では臨床教育はもちろん、大学院教育のサポートも充実しており、臨床と研究を一つの病院で両立できるため、さまざまな問題、課題を突破できる力も獲得することができます。医薬品

や医療機器の承認審査、ロボットスーツHALの実地研究などにも携わってきた私自身の知識、ノウハウも惜しみなく提供し、研究の実用化や医薬品をデザインできるような医師を育てることができると自負しております。

また、当院では、学会や勉強会への参加は、海外であっても旅費や参加費を病院が支給するなど、教育、研修への投資も惜しみません。

土地環境も素晴らしく、海の幸、山の幸と全ての食が美味しく、柏崎市には「ミシュランガイド」に載っている店がイタリアンや和食と複数あります。夏はマリンスポーツ、冬はスキーと楽しめますし、自分を見つめることができる自然豊かな落ち着いた環境も大きな魅力です。

給与面が充実していることも魅力であり、モチベーション高く働きながら、国際的にも通用する医師へと成長することができます。当院でなら、あなたの医師人生を豊かなものにできるでしょう。



PROFILE

出身地 : 新潟県新潟市
出身大学 : 新潟大学 (1983年卒)
宝物 : モノ(物)にはこだわりはなく、コト(事)にこだわっています。ストーリーや価値観を大切にしています。
座右の銘 : 認識は存在を上回る



国立病院機構 新潟病院

所在地 〒945-8585
新潟県柏崎市赤坂町3-52
WEB <https://niigata.hosp.go.jp>

病床数 **350**床 診療科数 **11**科

[診療科目]
内科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科(入院患者のみ対応)、脳神経外科、リウマチ科、放射線科、リハビリテーション科、歯科(入院患者のみ対応)、心療科

外来患者数 **194.8**名/日
救急外来患者数 **5.63**名/日
入院患者数 **329.6**名/日
救急車搬送患者数 **1.22**名/日

新潟病院のある街



新潟病院のある柏崎市は新潟県中越地方の西端にあり、日本海に面し、佐渡弥彦山米山国定公園に指定されている。新潟病院の前方には米山、後方には日本海、柏崎港を臨み、隣には柏崎市民の憩いの場である赤坂山公園があるなど、風光明媚なロケーションに位置する。冬は雪山ヘスキー、夏は海水浴と、新潟ならではの四季折々の自然を楽しみながら、充実した暮らしを送ることができる。



PROFILE

出身地 : 群馬県渋川市
出身大学 : 岩手医科大学 (2004年卒)
宝物 : 宇宙ステーションで作られた人工呼吸器
座右の銘 : 神は細部に宿る用の美

3Dプリンタ人工呼吸器 × 医師の声

世界初、「3Dプリンタ人工呼吸器」実用化への挑戦

新潟病院 臨床研究部医療機器イノベーション室長・内科医長 石北 直之

私が開発した「3Dプリンタ人工呼吸器」とは、原料のABS樹脂があり、製図データを受け取ることができれば3Dプリンタで容易に作製できるもので、既にNASAとの共同研究により宇宙ステーション内での動作試験に成功した実績を持っています。場所を選ばないため、発展途上国でも使用できますし、最近では新型コロナウイルスによる人工呼吸器の不足問題などがあるため、早急な実用化が期待されています。

NHOは全国的な大きい組織であって、臨床研究で多くの患者さんを救うというポリシーに賛同し、私はNHOに籍を移しました。また、研究成果を世に出せていないことはゼロと同じだと思い悩んでいたときに、医薬品や医療機器の薬事承認、ロボットスーツHALの実地研究など、経験に長けている当院の院長、中島孝先生から「その研究の実用化を一緒に目指さないか」と声をかけていただきました。

新潟病院に移り、中島先生の下で研究に取り組んだことで「3Dプリンタ人工呼吸器」の研究開発や宇宙プロジェクトを大きく前進させることができました。

研修医のみなさんには、診療の現場における課題を「仕方がない」と諦めるのではなく、信念を貫き、行動を起こせる人になってほしいと思います。信念を貫くことで応援してくれる人が増え、協力者が見つかり道は拓けます。さらに、良き指導者のもとで仕事することも非常に大切であり、大きな成長と成果を生み出してくれるはず。私も良き指導者のお陰で、研究の実用化に向けて着実に前に進むことができている。みなさんがびっくりするような研究開発を次々と出していきますので、ぜひ期待してください。

